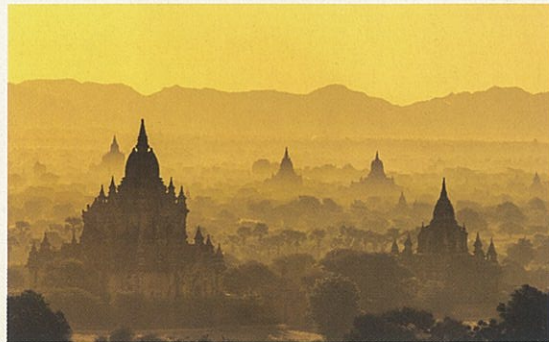


Myanmar



平成 28 年 3 月 27 日(日)～3 月 31 日(木) (予定)

3月27日(日) 1日目 ヤンゴン市内ホテルに現地集合

3月28日(月) 2日目 ヤンゴン市内にて関係機関等訪問

3月29日(火) 3日目 ヤンゴン周辺工業団地視察

3月30日(水) 4日目 ヤンゴン工科大学にて産学官連携セミナー
セミナー後解散

3月31日(木) 5日目 希望者によるバガン視察

企画共催 APEN (アジア高度専門職人材育成ネットワーク)
特定非営利活動法人 日本 e-Learning 学会

後援 JETRO (独立行政法人 日本貿易振興機構)

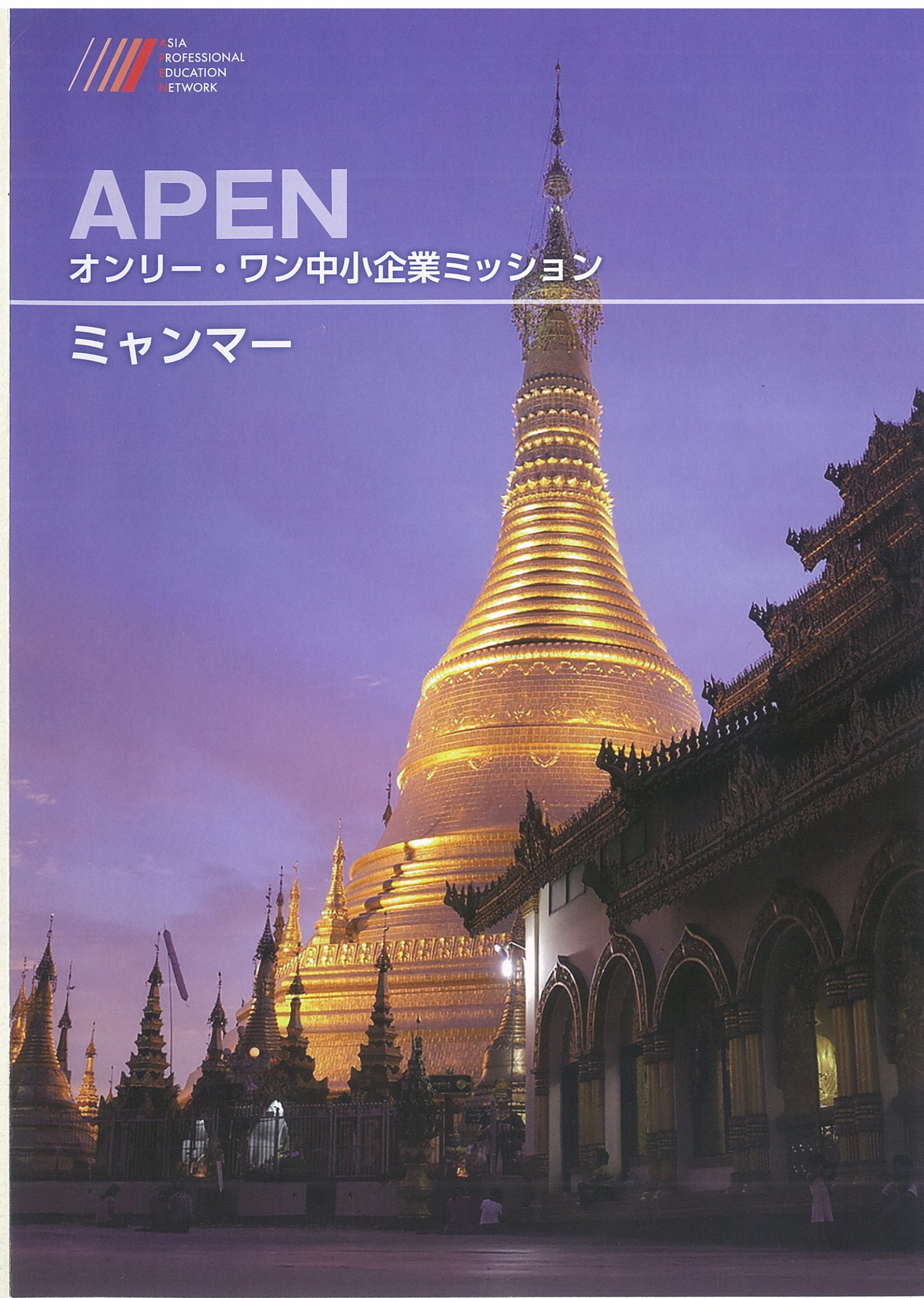
お問い合わせ先

APEN (公立大学産業技術大学院大学管理部管理課 担当: 高橋・畑佐)
〒140-0011 東京都品川区東大井 1-10-40 Tel: 03-3472-7831 Fax: 03-3472-2790
E-mail: apen-info@aiit.ac.jp URL: <http://www.apen.asia/>

APEN

オンリー・ワン中小企業ミッション

ミャンマー



APEN からの ご挨拶



APEN 会長
産業技術大学院大学 学長
石島辰太郎

ミャンマーと聞くとどのような連想をされるでしょうか？ 5000万人を超える人口、仏教国、親日的、安価な労働力、1988年国軍によるクーデター以来続くアウン・サン・スー・チー氏の民主化運動と長い自宅軟禁、2011年テイン・セイン文民政権の誕生と自宅軟禁開放と経済改革、そして2015年の総選挙でのアウン・サン・スー・チー氏率いるNLDの圧勝、とドラマティックな展開が続いている産業界最後のフロンティア。こうしたイメージからか、ミャンマーに関しては日本企業の関心も高く、動きも活発で、日々ニュース等で紹介されている所です。それでは、実態はどうでしょうか、関心はありますか？

ミャンマーの産業界への視察には様々なミッションが企画されていますが、アジアの大学間ネットワークでありますAPENのミッションは他のミッションには無い、大学を仲介した中小企業交流会議開催などの大きな特徴があります。今回もAPEN理事大学でミャンマーを代表するヤンゴン工科大学と協力して、ミャンマー進出を将来の視野に置く優良日本企業の皆様とともにミャンマーにおける中小企業を中心とする産業の実態を調査する目的で本ミッションを計画しております。どうぞ、ご検討の上、積極的なご参加をお願いいたします。

APEN オンリー・ワン中小企業ミッション

▶平成 26年 3月 2日～3月 5日 実施



ラオス工業団地視察



ラオス首相表敬訪問

※これまでのミッションでは、国家主席や首相をはじめとする政府関係者と直接面談する機会を得られました。

▶平成 27年 3月 1日～3月 4日 実施



マレーシア Kedah州投資センター会議室



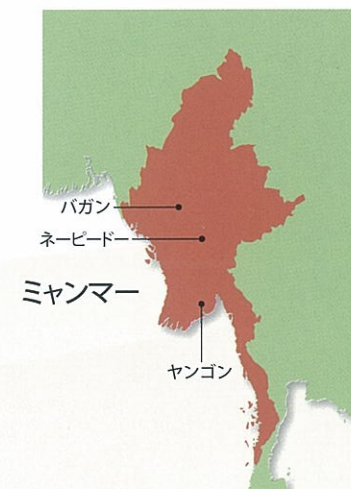
マレーシア MDeC (マルチメディア開発公社)

経済成長著しいミャンマーの 近未来

ミャンマー連邦共和国は、インドシナ半島に位置し、日本の約1.8倍となる68万平方キロメートルの面積の国土に、人口約5,150万人を有する連邦共和国で、インド、バングラディシュ、中国、ラオス、タイの5カ国と国境を接する多民族国家です。首都はネーピードーにあり、公用語はミャンマー語で、国民の90%が仏教徒であり、歴史的に関係の深い日本に対しては非常に親日的で、日本製品やサービスへの信頼度も高くなっています。

ミャンマーでは、2011年3月のテイン・セイン大統領就任に伴い民政移管が完了し、民主化が推し進められると同時に、経済改革の努力が国際的にも認められつつあります。経済成長率は、2012年 7.3%、2013年 8.3%、2014年 7.7%という高い水準で推移しています。好調な経済を牽引するのが外資による直接投資の増加です。2014年度の外国からの直接投資額（認可ベース）は2011年の民生移管以降最高額を更新、前年度比2倍の80億1,100万ドルに上りました。ミャンマー日本商工会議所に所属する企業数も2015年7月時点で250社、2011年と比較して5倍の規模となっています。

特に製造業分野の投資が伸びており、先行して拡大している建設投資と併せ、ミャンマー経済の今後の成長基盤となる動きが活発化しています。2015年夏にはティワラ工業団地の第1フェイズ造成工事も完了し、業種は縫製業以外にも自動車部品、食品、建材、物流、化学など多岐にわたっています。また、国を挙げて外資に対する規制緩和を積極的に行っており、広大な国土、廉価で優秀な人材、豊富な天然資源を持つ同国は、「アジア最後のフロンティア」として、今、日本のみならず各国から熱い視線を浴びています。



APEN オンリー・ワン中小企業ミッション ミャンマー

APEN (アジア高度専門職人材育成ネットワーク[®]) は、世界に誇る優れた独自技術を有する中小企業、すなわちオンリー・ワン中小企業のアジアとの連携を支援し、グローバルに展開しようとしている優良な中小企業に必要な人材とその育成方法を充実させるため「オンリー・ワン中小企業ミッションー ミャンマーー」を実施いたします。



ヤンゴン市内 (中央はスレー・パヤー)

本ミッションのポイント

- 1 ヤンゴン工科大学と連携し、産学官ワークショップを行い意見交換することで、ミャンマー人材の発掘についての支援が得られるとともに、アジアの将来を担うグローバル人材の育成に貢献します。
- 2 ヤンゴン周辺工業団地を視察し、具体的に投資計画を進めることが出来ます。
- 3 ミャンマー産業界との交流を通じて、ミャンマーで事業展開する上で重要な人脈の開拓が出来ます。
- 4 ミャンマー現地企業とのネットワーク構築が可能となります。

※ APEN (アジア高度専門職人材育成ネットワーク) は、今後のアジアの発展のカギとなる産業人材育成を効率的に進めるために、PBL (Project Based Learning) という教育方法の発展、普及を目的として平成 23年 6月に設立され、アジア諸国の大学/研究機関によって構成される国際組織です。AIIT (産業技術大学院大学) は、APEN全体の事務を担当しております。

平成 27年 11月現在加盟大学、団体数は30 (14カ国: 日本、中国、韓国、ベトナム、カンボジア、インドネシア、タイ、マレーシア、ラオス、シンガポール、フィリピン、ブルネイ、ミャンマー、インド) となっています。